

お米作りの手伝いをしました

湯田湯田学校三年生天川 愛梨

私のおじいちゃんとおばあちゃんは、東城
でお米を手作りしています。作っている田ん
ぼの広さは七百三十アールで、いろんな場所
にたくさん田んぼがあります。私の家は、お
じいちゃんとおばあちゃんが作ったお米を毎
日食べています。私はお米の作り方が知りた
くてお米のかんさつノートを、書いています。
四月に三百五十kg分のもみを水につけまし

た。それを日に当て、うらがえしにしながら
かわかす手伝いをしました。次にきかいに、
なえ箱を入れて土ともみをまきました。私が
もみをまいたなえ箱をはにぶと、重くてずず
ぐつかれました。おじいちゃんは一回に二箱
もって、かがいるなあと思いました。なえ箱
は千三百箱ぐらい作りました。なえ箱を軽ト
ラにのせて、ハウスにはこんで、ならべたら
毎日おばあちゃんが水やりをしながら生えて
きました。水やりはむずかしいから、手伝え

なかつたけど、毎日朝と夕方にすきまをのこ
さず水やりをするのは、大へんだと思いまし
た。次に田うえをします。どろどろの田んぼ
の中を歩くのはむずかしくて、つまづいてこけ
そうになりながらでも、がんばっていました。
お米の花はとても小さくて、お米にも花がさ
く事を初めて知りました。秋にはゴンバイン
でいぬかりをします。おじいちゃんがいぬ
をふまないように、上手うんてんするのがす
ごいと思いました。もみぐらをとって、げん
米をふくろにつめます。つめたふくろは三十
キロで私の体重より重いふくろをおじいちゃん
は何ともはこんでいました。

お米作りは力仕事が多く、たくさん時間が
かかり大へんだと思いました。

友だちが家に来た時に、ごはんをたべて
おいしーと言った。これをおじいちゃん
とおばあちゃんに伝えたいぬ思います。

これからも、お米作りの手伝いをし、ごは
んをのこさず食べます。